buildingSMART Level 1
プロフェッショナル資格（bS-QP-1）コース

buildingSMART®
Professional Certification – Foundation

一般社団法人 Civilユーザ会


bS-QP-1：入札要件を超えていく
「BIMの本質」を掴むための、プロフェッショナル認証
buildingSMART PROFESSIONAL CERTIFICATION - FOUNDATION

プロフェッショナル認証（bS-QP-1）の価値

なぜ、
入札要件にない
資格を取得
するのか？



「入札要件（リクワイアメント）ではありません」

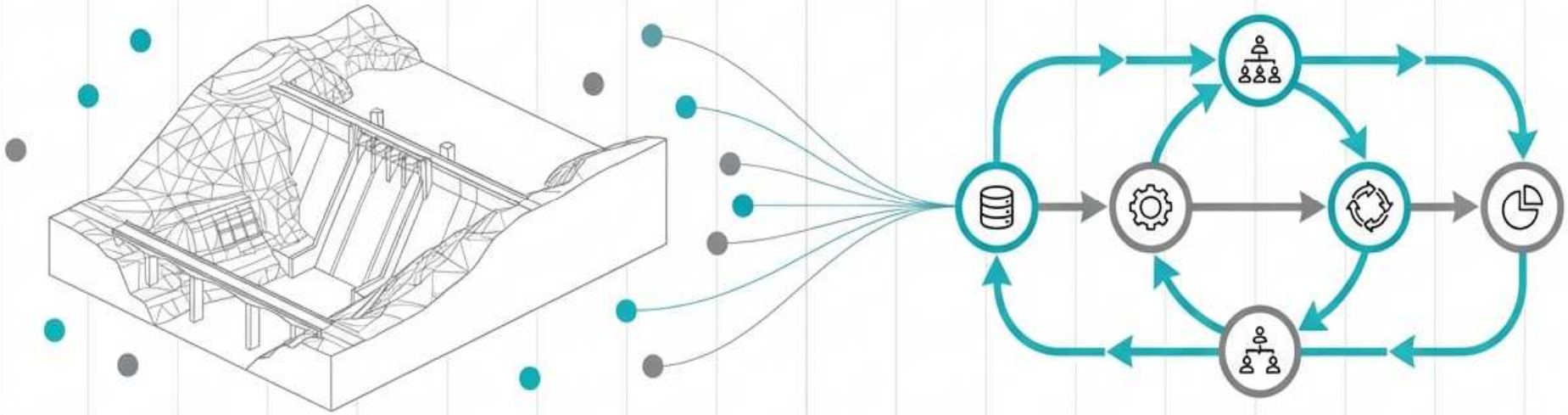
しかし、要件はあくまで「最低基準」に過ぎません。

真の生産性向上と、国際標準（ISO 19650）の本質的理解は、ルールの先にある「競争力」を生み出します。

プロフェッショナル認証(bS-QP-1)の価値

「BIM/CIM」と「Global BIM」のギャップ

JAPAN: BIM/CIM
国内事業の最適化



土木（CIM）と建築（BIM）を統合した独自の名称。
Focus: 地形や構造物の3次元化、モデル作成が中心になりがち。

GLOBAL: ISO 19650
国際標準のマネジメント

建設事業全体の「情報マネジメント」の手法。
Focus: 意思決定の信頼性、プロセス、ライフサイクル全体の資産管理。

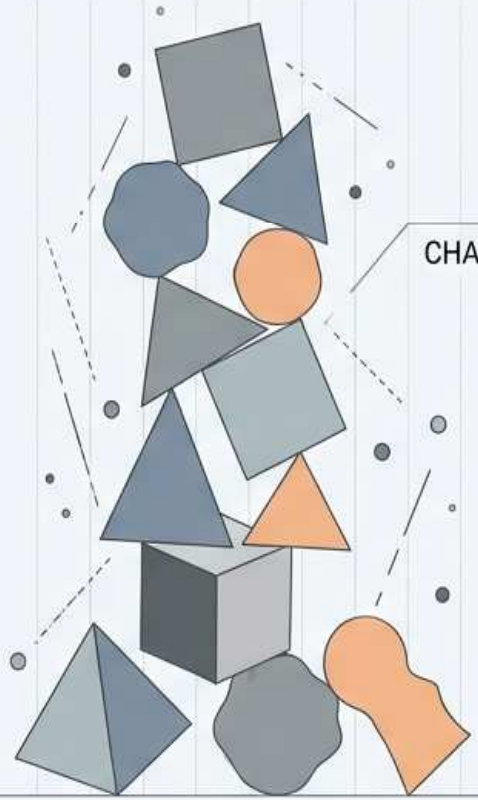
結論：ツール操作だけでなく、「情報の管理手法」を学ぶ必要があります。

プロフェッショナル認証(bS-QP-1)の価値

共通言語の不在＝プロジェクトの損失

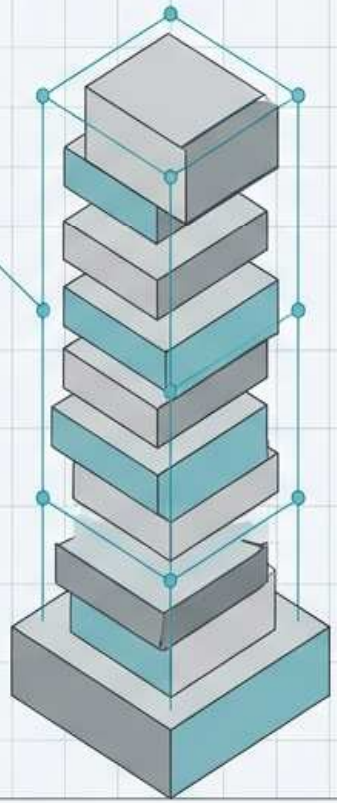
定義の曖昧なデータ交換は、手戻りと誤解を生みます。

ISO 19650は、単なる規格ではなく、プロジェクト全員が同じ言葉で話すための「文法」です。



CHAOS: Non-Standardized Data

ORDER: ISO 19650 Standard

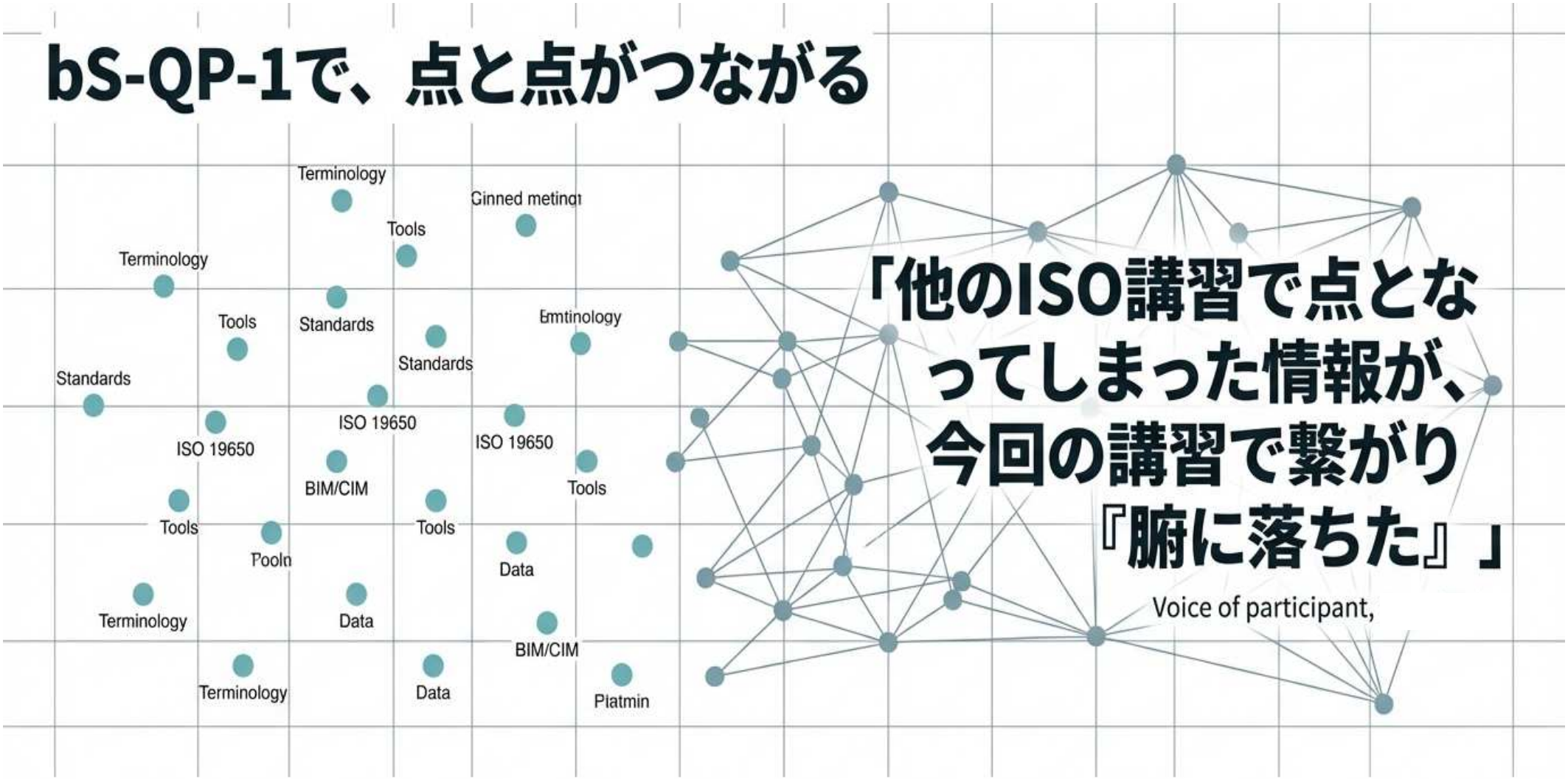


「社内に共通言語で話ができる仲間を作っていきたい」

Voice of participant,

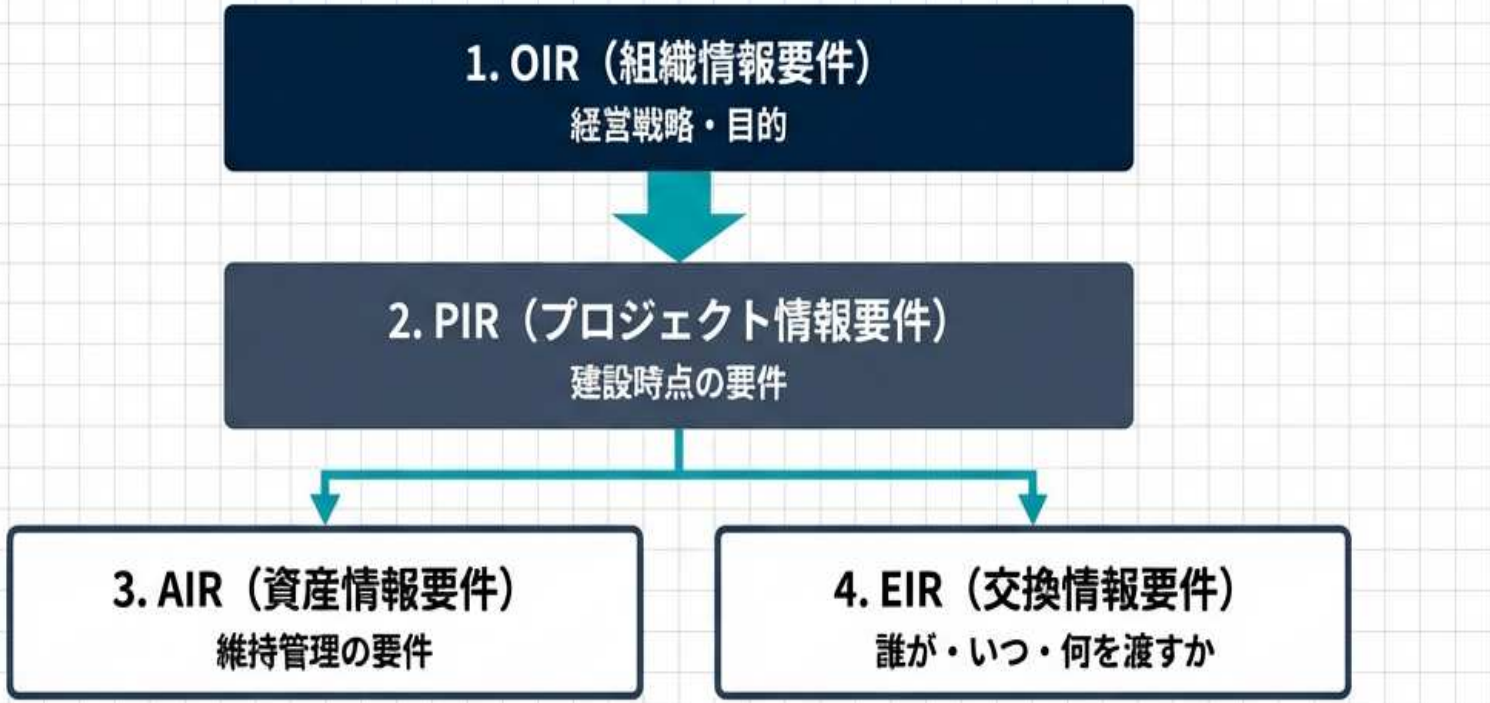
プロフェッショナル認証（bS-QP-1）の価値

bS-QP-1で、点と点がつながる



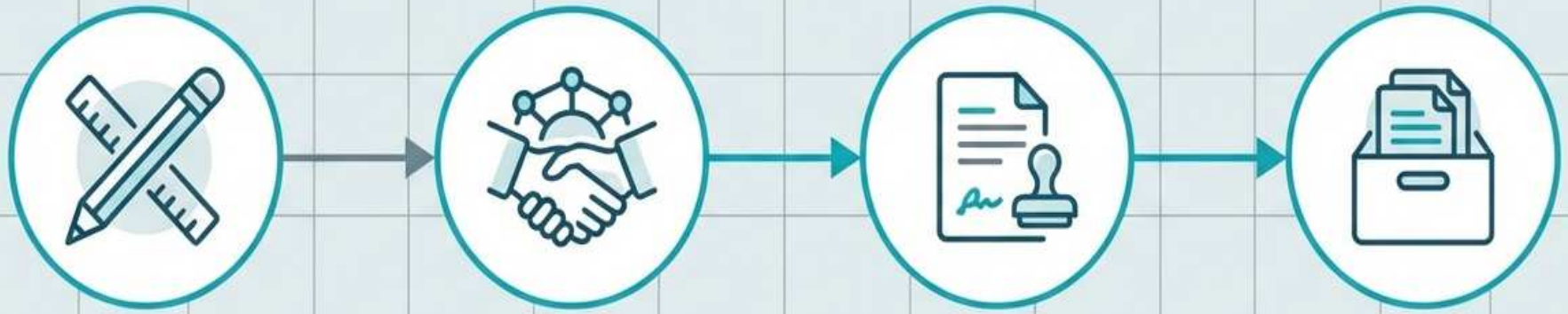
断片的な知識（用語、ツール、基準）を、体系的な理解（システム）へと昇華させるプログラム。

「なぜ作るのか」を定義する（ISO 19650のロジック）



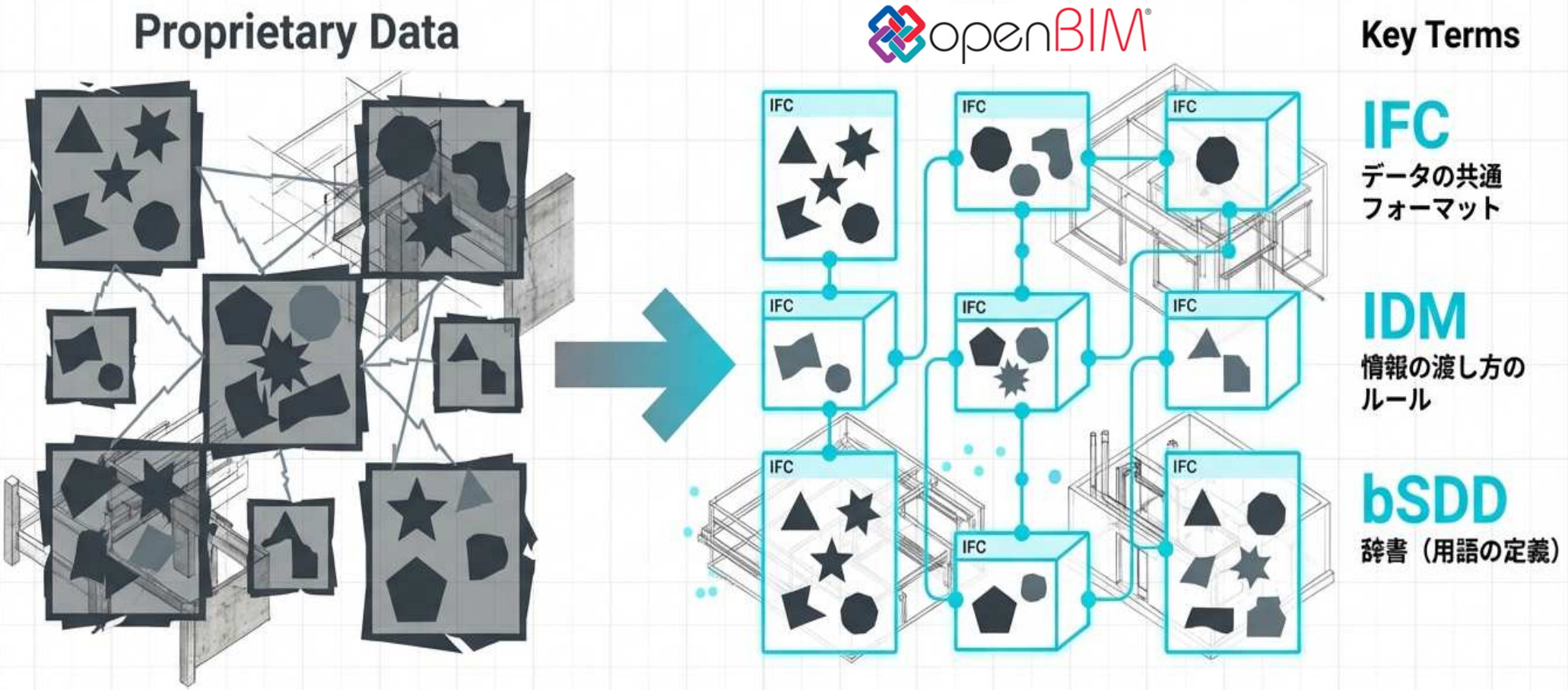
重要： 3Dモデルを作る前に、「情報の必要性（Level of Information Need）」を理解する。

CDE：唯一の正解情報（Single Source of Truth）



- 混乱を防ぐための4つのステータス管理。
- 最新版が不明確になるリスクを排除し、責任の所在を明確化します。

独自データから、openBIMへ！



特定のソフトに依存しない、持続可能な資産管理を実現する「相互運用性」。

発注者・オーナーにとっての価値



- 要求事項（リクワイアメント）の明確化による、品質向上とリスク軽減。
- 意図しない成果物の納品防止。

「発注者サイドで抑えておかなければならないポイントを知ることができた」

Voice of participant

設計者・施工者にとっての価値



Designer

設計者: 手戻りの減少、迅速な意思決定、整合性の確保。

Information Flow

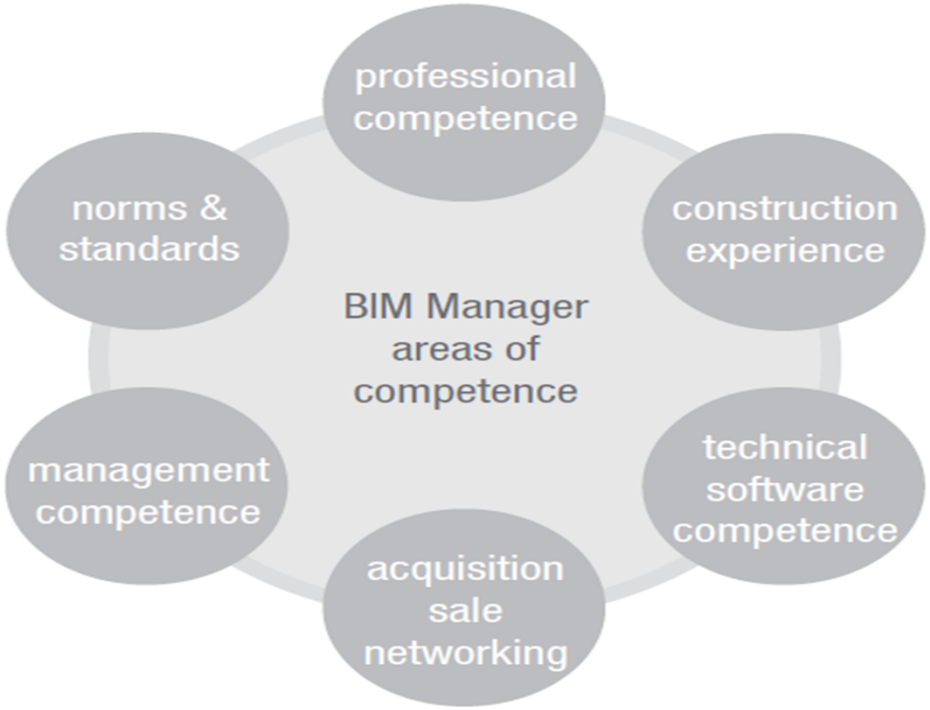


Contractor

施工者: 正確な情報に基づく施工計画、進捗管理の効率化。

「なんとなく」のモデリングから、目的を持った「情報マネジメント」への転換。

「知らない」ことに気づく強さ



BIMの定義、用語、標準を正しく理解することで、
初めて自分の現在地と課題が見えてくる。

この「気づき」こそが、成長のスタートライン。

「自分のコンピテンシー（行動特性・能力）がまだまだ足りないこと分かった」

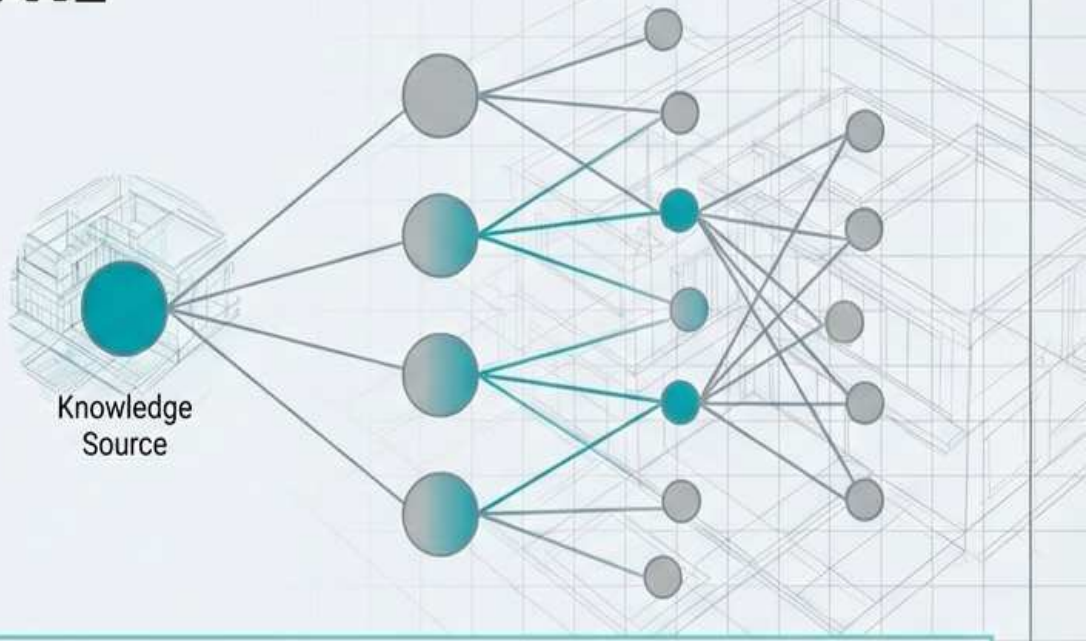
Voice of participant,

プロフェッショナル認証(bS-QP-1)の価値

組織を変える「共通言語」

一人だけの知識では、BIMは機能しません。

プロジェクトチーム全体、組織全体で
同じ「文法」を共有することで、
コラボレーションが加速します。



「社内にこの講習を水平展開して仲間を増やしたい」

Voice of participant,

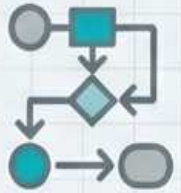
プロフェッショナル認証(bS-QP-1)の価値

本コースで得られる武器

1 

BIMの定義と用語

グローバル標準の正しい理解

2 

ISO 19650プロセス

発注から維持管理までの情報フロー

3 

openBIM®の基礎

IFC, IDM, bSDDの役割

4 

アセスメント能力

自分とチームの能力を評価する視点

プロフェッショナル認証(bS-QP-1)の価値

世界標準から取り残されないために

WARNING

日本独自のルールのみでは、
将来的にWTO(世界貿易機関)
の政府調達協定におけるリスク
になる可能性があります。

ISO 19650に則った運用は、国内だけで
なく、国際的なプロジェクト参画への
パスポートとなります。

**ルールができるのを待つの
ではなく、今、準備する。**

プロフェッショナル認証(bS-QP-1)の価値



目次

1. buildingSMART プロフェッショナル認証とは？
2. Building Information Modellingの定義、主要用語、利点の理解
   - 2.1 BIMの活用を推進する背景
   - 2.2 BIMの定義
   - 2.3 ISO19650における6つの標準
   - 2.4 BIMの用語
   - 2.5 ISO19650-1における情報管理の成熟度
   - 2.6 情報モデルの定義
3. 従来のプロジェクト実施に対するBIMの利点の認識
   - 3.1 協働プロセスや新しい仕事の進め方が求められる理由
   - 3.2 不適切な情報管理がプロジェクトへ与える影響
   - 3.3 必要な情報を整備するためのプロセスと標準
   - 3.4 設計者と施工者にとってのBIMの価値
   - 3.5 建物の所有者と建物管理者にとってのBIMの価値
4. ISO19650シリーズに則るBIMによるプロジェクト情報管理の理解
   - 4.1 委託者が要件を明確に定義する方法の理解
   - 4.2 BIM実行計画(BEP)の役割
   - 4.3 一貫した運用による情報交換が求められる理由
   - 4.4 共通データ環境(CDE)を構成する4つの段階とその利点
   - 4.5 情報管理の役割分担を明確にすべき理由
   - 4.6 プロジェクトチームの情報管理・作成能力の評価(契約前)

目次

5. オープンで相互運用可能なソリューションの必要性の認識
   5.1 buildingSMARTの概要
   5.2 openBIMの定義、openBIMワークフローについて
   5.3 IFCの定義
   5.4 MVDの定義
   5.5 IDMの定義
   5.6 bSDDの定義
   5.7 IDSの定義
   5.8 UCMの定義
   5.9 その他
6. 情報管理における資産のライフサイクルと所有者の視点の理解
   6.1 openBIMベースの情報管理を採用する際の利点と課題の理解
   6.2 資産の開発、引き渡し、運用を定義する組織文化の変化の理解
   6.3 情報管理における、アプローチ開発の要素の理解
   6.4 情報交換を確実にするための構造化要件とプロセスの理解
   6.5 情報管理に関するデータセキュリティの意味とアプローチの理解
7. buildingSMART Level 1 プロフェッショナル資格試験
   7.1 試験準備
   7.2 合格後のアクション
   7.3 試験

講習計画

講習1日目

09:00　講習イントロダクション
　　1章 Professional認証とは
09:20　2章 BIMとは？その必要性
12:00　休憩
13:00　3章 BIMの役割とメリット
14:30　休憩
14:40　4章 ISO19650の基礎
16:40　質疑応答
17:00　終了

講習2日目

09:00　1日目の復習
09:05　5章 相互利用可能とするために
12:00　休憩
13:00　6章 資産のライフサイクル
14:30　休憩
14:40　総復習＆質疑応答
16:00　7章 受験準備
16:15　試験開始
17:00　終了

※時間は目安です。

講習開催計画及び費用

１．開催計画

2月1日を起算日として、偶数月の最終木～金曜日を原則的な開催日としています（12月を除く）。４名様以上でお申込みの場合は応相談。

締切日は開催月の前月末です。

※各回の日程は、変更される場合があります。

年	月	日	曜日	申込締切日
2026	2	26-27	木-金	2026/1/31
2026	4	23-24	木-金	2026/3/31
2026	6	25-26	木-金	2026/5/31
2026	8	27-28	木-金	2026/7/31
2026	10	29-30	木-金	2026/9/30

２．費用－受講及び受験費用（税込み）

受講料： 90,000円

試験料： 27,500円

合　計：117,500円

JOIN US !

お問い合わせ ⇒ info@cim-cug.jp



CIVIL USER GROUP

BIM/CIM Together

buildingSMART®
Professional Certification – Foundation